

# 我孫子市卓球連盟

創立 昭和 54 年

(現行規約による組織の開始)

加盟 昭和 40 年



## 1. 沿革

昭和 40 年初期に近県大会の開催実績があることから、市民大会、近県大会を運営する「有志の会」が卓球連盟として活動していたと思われます。

筆者が卓球連盟に役員として本格的に携わったのは昭和 53 年からで、その年は規約の手直しをはじめとし、連盟の組織化の準備が始まった年です。当時の規約では、卓球連盟の会員は我孫子市民とされ、会員が特定されてはいない為、組織としての活動指針は規約には何も定められていませんでした。

そこで、連盟に加盟し登録されたクラブのメンバーが民主的に組織を運営するとした現在の規約に変更し、新たな規約のもとで活動を開始したのがその翌年の昭和 54 年でした。

したがって昭和 54 年は、いわば、現在の卓球連盟の出発の年とする所以でもあります。その意味で、今回は卓球連盟の創設を新しい卓球連盟の出発の年である昭和 54 年として記録に残すこととしました。

新しい卓球連盟の活動の歴史として特筆できることは、昭和 54 年度から市内の小中学校施設開放事業の推進に呼応して、教育委員会体育課が中心となって、毎年新たな小学校に卓球台を配備し、卓球連盟が講師をつとめ開催した卓球教室があります。そして、教室終了後、その設備を利用したクラブ結成が軌道にのり、高野山小、湖北小、湖北東小、第二小、第三小、新木小、並木小、

第一小、布佐小とほとんどの小学校学区で毎年のようにクラブが誕生し、加盟クラブが増えていくことになりました。この我孫子市における卓球連盟の基盤形成期となる市内への卓球の普及活動は待望の市民体育館が出来る昭和 60 年度まで継続しました。その後は、市民体育館を利用した卓球教室を開催し、市民体育館を活動拠点とするクラブの育成を進めてきています。


我孫子市卓球連盟が各クラブの参加により運営される現在の形になってからは、各クラブの代表者の参加を得て役員体制も充実し、オープン大会、市内大会をはじめとする大会事業の拡大、体育協会の一員としての体育協会事業への協力、卓球講習会による普及活動等着実に活動基盤を固め、我孫子市の体育活動の一つとして、歩を進めてきています。我孫子市体育協会の 50 周年の記念誌の発刊を祝し、卓球連盟の記録が残っている範囲で、その足跡の一部をうかがえるデータを以下に紹介させていただきます。

加盟クラブの推移と大会実績については、記録が不十分な年もあり、正確な記述が出来ませんが、年とともに加盟クラブ数が増えてきていること、試合参加者数では年によって大きく増減があることが読み取れると思います。

年度	加盟クラブ		大会実績		
	クラブ数	会員数	市内大会回数	オープン大会回数	参加者数合計
S54	5		3	1	
S55	8	220	3	1	
S56	8		3	1	900
S57	9		4	1	1000
S58	10		4	1	1100
S59	12		6	1	
S60	15	380	7	1	
S61	15		8	2	
S62	15		8	3	
S63	16		8	3	
H01	16	361	6	5	3150
H02	15	366	8	6	4400
H03	15	364	7	5	2500
H04	16	357	7	6	2800
H05	17	357	8	6	3000
H06	19	433	8	6	2500
H07	15	388	9	5	2250
H08	15	381	8	6	2600
H09	15	396	7	6	2550
H10	15	380	7	6	2600
H11	14	375	7	6	3050
H12	14	377	6	6	3000
H13	16	385	5	5	2300
H14	15	375	5	5	2300
H15	17	391	5	5	2400
H16	18	385	4	5	2700
H17	17	368	5	5	2500
H18	18	409	5	5	2450
H19	18	400	5	5	2450
H20	18	390	5	5	2400
H21	16	360	5	5	2350
H22	19	400	5	5	2450
H23	19	410	6	3	1950
H24	20	430	5	5	

卓球連盟の34年間の歩みをみると、昭和54年に始まる卓球教室による卓球の普及と加盟クラブ増による基盤形成期、昭和61年の市民体育館完成による大会事業の拡大を中心とした発展期、そして平成6年のラージボールの普及の開始を始め高齢者にも焦点をあてた生涯スポーツとしての卓球を推進する充実期といった軌跡を経て現在に至っています。

そして、その足跡の中でも特筆すべきイベント、記録を抜きだすと以下のトピックスがあります。

年度	トピックス
S54 ～ S60	<p><b>小学校の体育館の開放事業の推進と卓球教室の開催。</b></p> <p>体育館開放事業の一環としての小学校9校における卓球教室の開催が始まった。卓球連盟による卓球クラブの設立支援と育成がその成果を結び始める。以降、この時期に誕生したクラブが、我孫子市卓球連盟の中心となって活動の発展を支えていくことになった。</p>
S58	<p><b>我孫子市のピンポンママさん全国大会へ！</b></p> <p>第6回全国家庭婦人卓球大会に出場。我孫子市卓球連盟初の千葉県代表として北九州市へ。</p> <div style="text-align: right;"> <p><b>市のピンポンママ全国大会へ</b></p> <p>県予選を勝ち抜き</p> </div>  <p>市のママさんピンポンが、いよいよ全国大会へ！第6回全国家庭婦人卓球大会に出場することになりました。この大会は、30代の主婦4人、40歳以上の主婦2人と1チームが構成されています。ちなみに市チームは最年少が33歳、最年長が46歳。手選の県大会では、グループ1の大会は、30代の主婦4人、40歳以上の主婦2人と1チームから構成されています。各クラブからの寄せ集めにしてはよくまとまって、実力以上の上のものを出してくれました。と語るのは市卓球連盟の会長でもある中村監督。全国大会は7月29日から31日まで北九州市で、いま選手と補欠のみならず、はだしをきくともせず、白球を追っています。市のチームの活躍をお祈りします。</p>

S58



体育協会旗応援に参加。

写真後列左から、平賀、並木、平野、広谷  
前列左から小池コーチ、成田、内田、佐藤、  
赤羽、中村、駒田、中村監督



堂々の入場行進。



大会は残念ながら予選リーグで敗退。

S61

### 我孫子市民体育館完成オープン

待ちに待った我孫子市民体育館完成によ  
ってオープン大会の開催が容易になり、オ  
ープン大会の拡大期が始まった。

オープン卓球大会の平日での開催が可能  
になった年でもある。

この年を契機に我孫子市での家庭婦人(レ  
ディース)のオープン大会が続々と開始さ  
れることになった。

H2

### 千葉県民大会で女子チームが初優勝

千葉県 26 郡市からなる県民大会卓球の部  
で我孫子市女子チームが初優勝を遂げた。



写真後列左から、内田、矢澤、成田、船倉、  
駒田、前列左から鈴木、草間、中村、平野、  
玉川、平野

H3

### 千葉県民大会で男子チームが準優勝。

H2 の女子の優勝に続き H3 は男子チーム  
が決勝に進出。千葉市と大接戦を演じるも  
4 : 3 で惜敗し、準優勝となった。

(準優勝メンバー：中村、田村、川村、伊  
藤、川久保、矢澤、荷見、今井、草間、小  
野塚、水島、榊原、坂田)

H3

### 第 4 1 回世界卓球選手権大会が千葉幕張 で開催、我孫子市の選手、スタッフが大活 躍。

併設大会の地球レディース大会に我孫子  
レディースが出場。予選リーグを突破、2  
回戦進出



写真、左から、中村、上野、成田、橋本、  
矢澤、駒田

H3 新聞にも「我孫子レディースに元シンガポールチャンピオン矢澤玉華さん」として紹介、その活躍が大きく取り上げられた。



試合に先立ち開催されたレセプションでは選手宣誓を我孫子レディースが行った。代表の矢澤玉華さんの英語、中国語、日本語の3ヶ国語での宣誓の言葉に続いて全員でスローガン「千葉が好き！、地球が好き！、卓球が好き！」を声高らかに！宣言



また、地球マスターズのダブルス 140歳Aで鈴木サチさん(70)湖畔クラブが見事3位入賞。卓球人生を楽しむというタイトルで記事が紹介された。



そして、卓球連盟より多くのボランティアが大会運営に協力し大会を盛り上げた。

H4 第11回全日本クラブ卓球選手権大会に出場

我孫子レディースが全日本クラブ卓球選手権大会(別名セブンイレブンカップ92)に千葉県代表として初めて出場した。



写真左から、内田、中村、駒田、吉田、矢澤

H6 公民館での小学生卓球教室の開催  
~  
H13 学校5日制開始に伴い、公民館にて毎月一回(第2土曜日)小学生の卓球教室が開催され、卓球連盟の役員が講師となって8年間にわたって小学生に対する卓球指導が継続的に実施された。この教室で指導を受けた小学生で県民大会で活躍する選手も誕生した。

H7 全日本マスターズ卓球選手権大会で優勝  
60歳の部でVEGAクラブの小野塚章司さんが見事優勝。翌H8の大会でも準優勝と全日本マスターズで大活躍。

H8 アジアベテランで優勝！  
アジアベテラン卓球選手権(オーストラリア)で湖畔クラブ 鈴木サチさんが優勝。体育協会の機関誌でも取り上げられた。



H14	<p><b>我孫子市卓球連盟のホームページ完成</b></p> <p>かねてより要望があった我孫子市卓球連盟のホームページが公開された。大会案内、大会結果等の広報活動に活躍。</p>
H15 ～ H16	<p><b>東京選手権で連続優勝</b></p> <p>東京選手権 70歳代の部でVEGAクラブの小野塚章司さんが連続優勝の快挙。</p> 
H16	<p><b>世界ベテラン卓球選手権大会に我孫子市の選手が出場。</b></p> <p>平成16年に横浜市で開催された世界ベテラン卓球選手権大会に我孫子クラブ中村明彦（50歳の部）、VEGAクラブ小野塚章司（70歳の部）が出場、共に予選リーグを突破、決勝トーナメント進出。</p>  <p>写真は中村明彦（50歳の部）</p>
H20	<p><b>全国ラージボール卓球大会で優勝！</b></p> <p>平成20年度全国ラージボール卓球大会、混合ダブルス150歳の部で小野塚章司さんが優勝</p> 

## 2.組織

平成24年度の組織は、加盟クラブ数20クラブ（424名）、役員は会長以下16名、他に各種事業の運営に協力する実行委員28名となっています。

卓球連盟・役員組織図	
会長	中村 明彦
副会長	小野塚 章司
副会長	鈴木 基之
理事長	駒田 由美子
副理事長	中村 和子
会計	田渕 加寿子
理事	吉田 常子
理事	杉原 恵美子
理事	坂田 一夫
理事	上野 真理子
理事	木村 良仁
理事	川久保 実
理事	小玉 克己
理事	古田 岳志
理事	桑江 朝臣
会計監査	中山 妙子
実行委員	理事長から委嘱 28名

## 3. 歴代役員

年度	会長	副会長	理事長
S53	檜山四郎	小玉定雄	菅原文雄
S54-S55	中村明彦	佐藤洋子	小池秀保
S56-	中村明彦	小池秀保	小川俊雄
S57-S60	中村明彦	小池秀保	清田富美雄
S61-S63	中村明彦	小池秀保	谷内紀夫
H01	中村明彦	谷内紀夫	鷺見公男
H02	中村明彦	谷内紀夫	赤羽祐子 鷺見公男
H03-H05	中村明彦	矢沢正道	赤羽祐子 川村敏治
H06	中村明彦	赤羽祐子	川村敏治
H07-H08	中村明彦	赤羽祐子	津賀昭人
H09-H14	中村明彦	坂本和夫	吉田常子
H15-H22	中村明彦	小野塚章司	鈴木基之 吉田常子
H23-H24	中村明彦	小野塚章司	鈴木基之 駒田由美子

#### 4. 活動状況

##### <年間事業>

平成 24 年度の事業は、委託事業の市民大会を含む市内大会 4 回、オープン大会 5 回、講習会 1 回、県民大会派遣選手の強化練習会、全国大会出場者への参加費支援および体育協会主催事業への協力活動等となっています。なお、以下に掲載する過去の開催実績については、平成 23 年度が東日本大震災の関係で中止となった大会もある為、平成 22 年度の実績を記述したものもあります。

##### <市民大会>

中学生の部（シングルス、ダブルス）、一般男子の部（ダブルス）、男子シングルス（45 歳未満、45 歳以上、60 歳以上の年代別）、女子団体戦（年代別の 3 ダブルス）、ラージボールの部（男女混合の 3 ダブルスの団体戦）等、小学生から高齢者までが一堂に会してそれぞれの種目で熱い戦いを繰り広げます。

委託事業として我孫子市から委託された行事です。



平成 23 年度の中学生の男子の部のダブルスで小学生の女子が男子中学生を破って優勝しました。

この大会には中学生 105 名、一般 75 名、ラージボールに 28 名が参加しました。

##### <市民ランク別大会>

平成 24 年度で 29 回の開催実績となる市内の団体戦です。1 部、2 部、3 部に分かれて、技術、経験のランク毎に試合を行います。試合形式は 3 ダブルスの団体戦で 1 チーム 3 名以上で参加できます。初心者でも参加しやすいようにと、ランクを分けての試合になっています。

この大会には 30 チーム 100 名の参加がありました。

##### <市内チーム大会>

平成 24 年度で 32 回目の開催となる平日に行われるチーム戦です。もともとは家庭婦人の団体戦として昭和 56 年に始まりましたが、60 歳以上であれば男性も参加できる大会になって今の市内チーム大会という名前になりました。2 複 1 単からなる団体戦で、22 チーム 117 名の参加がありました。

##### <市民親善大会>

平成元年より始まった大会です。勝ち負けを超えて卓球を楽しみましょう、ということで、当日、くじ引きで 6 名による 3 ダブルスというチーム編成を行い、神様が決めた運命のチームで一日戦い続けるという親善を目的とした団体戦です。過去には地区ごとにチームを分けた地区対抗という形もとったことがあります。参加者のレベルや数にばらつきがあったため、現在のくじ引き方式になりました。普段、卓球大会には縁のなかった人も参加したくなる楽しい大会です。この大会には 120 名の参加がありました。

以下の大会はオープン大会（我孫子市民以外の選手が多数参加するレベルの高い大会）です。我孫子市ではレディースのオープン大会 2 回、ラージボール大会を含む 5 回のオープン大会を開催しています。

### <レディースオープン3ダブルス大会>

平成24年度で24回目を迎える30歳以上のレディースの団体戦です。ダブルス三つの団体戦で、82チーム、500名が参加がしました。



### <チームカップ大会>

平成24年度で20回目を迎える一般男女の2複3単の団体戦です。1部、2部、3部とレベル毎に分かれて戦う試合です。87チーム380名の参加実績のある人気の高いチーム戦です。



### <レディースオープン団体大会>

平成24年度で27回目を迎える30歳以上のレディースの1複4単の団体戦です。賞品としてシクラメンを贈呈していることから、通称シクラメン杯と呼ばれる人気のある大会です。60チーム320名の参加がありました。

### <我孫子オープン卓球大会>

平成24年度で33回目を迎える一般男女のシングルスとダブルスの個人戦です。卓球連盟で最も歴史と権威のあるオープン大会で昭和55年にシングルスのみ近県大会から、ダブルスを加えて我孫子オープン大会として出発しました。全日本選手権に出場する選手が過去に何度も参加しているレベルの高い大会で220名の参加がありました。

### <オープンラージボール大会>

平成24年度で16回目を迎えるラージボールのオープン大会です。年代別の男女混合の団体戦と年代別の男女別のダブルスを行います。ラージボールの全国大会で上位に入賞するトップレベルの選手の大部分が参加するレベルの高い大会です。48チーム、98組、約200名の参加がありました。

### <卓球講習会>

平成7年からジュニアの強化策の一環として、市内中学生大会から講習会兼練習会に切り替えて連盟会員と中学生を対象に、連盟役員が指導にあたってきましたが、平成17年からは一般の部、中学生の部、ラージボールの部の講習会を外部講師を招聘して実施しています。外部講師としては、硬式の部は卓球指導家として有名な世界卓球選手権大会にも出場経験のある古川敏明氏、ラージボールの部は株式会社ニッタクの指導者をお願いしました。硬式の部、ラージボールの部合わせて117名の参加がありました。



### <県民大会>

毎年秋に開催される県民大会の卓球の部に、卓球連盟は男女の選手団を編成し、我孫子市の名誉と誇りをかけて熱い戦いを展開しています。

県民大会は男女共に高校生シングルス2試合、成年シングルス2試合、ダブルス1試合、年代別2試合の7試合で戦います。我孫子市は過去、女子は優勝、男子は準優勝に輝く成績を収めたことがあります。ここ数年は予選リーグを抜けてベスト8に入るのが目標となっています。

年度別の成績は次のようになっています。ベスト8以上に入賞すると我孫子市に順位に応じたポイントが付与され、我孫子市の総合順位のポイントになります。

年度	男子成績	女子成績
S55	3位	16
S56	3位	16
S57	ベスト8	3位
S58	3位	ベスト8
S59	ベスト8	ベスト8
S60	ベスト8	ベスト8
S61	予選	予選
S62	予選	予選
S63	ベスト8	ベスト8
H01	3位	3位
H02	3位	優勝
H03	準優勝	ベスト8
H04	3位	10
H05	ベスト8	10
H06	予選	3位
H07	ベスト8	ベスト8
H08	予選	ベスト8
H09-H13	予選	予選
H14	ベスト8	予選
H15	予選	ベスト8
H16	予選	予選
H17	中止	中止
H18	予選	10
H19	予選	ベスト8
H20	予選	予選
H21-H22	中止	中止
H23	予選	予選



平成23年度の県民大会選手団  
戦い終わって！

### 5. 今後の課題

我孫子市卓球連盟が掲げる活動方針は以下の通りです。

- (1)各種大会及び練習会を通し我孫子市の卓球競技水準の向上を図る
- (2)地域クラブ育成を通し卓球人口の拡大を図る。
- (3)ラージボールの普及による生涯スポーツの推進を図る
- (4)ジュニアの育成
- (5)NPO法人我孫子市体育協会（以下体育協会）の活動への参加・協力を通し、我孫子市の体育活動を推進する。

この活動方針のもとに一人でも多くの人に卓球の楽しさを知ってもらうこと、また、卓球連盟として会員の皆さんの要望に応えつつ、継続的に我孫子市の卓球連盟の活動を支えてくれる人材の育成を図っていくことを、今後の課題とし、日々努力をしていきたいと、決意を新たに筆を置きたいと思います。

今後とも我孫子市卓球連盟の活動にご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。最後になりますが、我孫子市体育協会の創立50周年を心からお祝い申し上げます。

（文責 中村明彦）